ーゼルに居た、バーゼル

た。

2011年7月16日

価 1 部 140 円 (本体 133 円干共 200 円) り購読料 1 年分 〒共 5,000 円 紙代のみ 3,500 円 概代のみ 3,500円 振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい。 教会の聴聴料は大きなない。 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546 FAX03(3207)3918 内 藤 留 幸 竹 澤 知代志 発 行 人 内 藤 留 幸 編集主筆 竹 澤 知 代 志 印 刷 所 株式会社きかんし

エゼキエル

書37章

かも軽い。そこに突然、「地 か」(マタイ11・7)。 の基ふるい動く」、眼の前に 相が隠蔽されていたのか。 であることか。なんと戦後 軽い、生き方が軽い。何も 代であったのか。人間の実 では救いを必要としない時 この言葉が響き渡る。今ま 日本は軽く壊れやすかった いま、現代の日本全主に

葉が、突然思い出させた。 か」「賽の河原」という言 事ということか 無常を受けいれ耐えるのみ 原だ!」。それでは、ただ されてとう言った、「賽の河 たるむき出しの光景に圧倒 仏教学者山折哲雄氏は、 「何を見に出て行ったの 「あきらめ」が所詮大

の画家ホルバインの描いた 美術館で、ルターと同時代 L』がある、それを見に 『墓の中に横たわるキリス 出て行った」。二度も見ら り言った。これはその十字 たしかに使徒信条は、十字 なキリストを描いたのか。 代の直中で、なぜこのよう られ陰府に降り」とはっき 架のキリストが「死にて葬 ホルバインは宗教改革時

·賽の河原」を越えて行く橋

何を見に出て行ったの る人は信仰をなくす」と。 の前にドストエフスキーも かれる思いであった。 タントの中にある問題を突 さえ感じた。日本プロテス の虚弱がさばかれるように た。むしろみずからの信仰 わたしはそう思えなかっ ぶやいたという、「これを見 立った、そして彼はこうつ かし、二度目見たとき、

ある年わたしはスイスの 神に迫られるように感じ キリストが横たわる。何か たる一日、その一日の中に さ」はない、「同時」では ト」と批判した、それだ。 て「平気で」罪を犯す、ミ ない、深い陰府の中に刻々 ュンツアーが「甘いキリス を起こして「大胆に」そし と、義と罪とは渾然空回り 誤用されてきたかというこ に罪人」と言った、その しかしこの絵にはその「甘 「同時」が、何と誤解され ルターは「義にして同時 媒介として前へ動く、動い 違う、否定媒介! は立つは立つでも「立ち」が て立つように、その「立つ」 ては倒れる、その倒す力を らない、一自転車が止まっ 老病死」ではない、死で終わ ら来ると解説したのだ。「生 リストの「生→死→復活」か 「有→無→成」の弁証法はキ い言葉がある。ヘーゲルの ら聞いた今なお忘れられな

も

曜日のイエスの死の中にあ かれて、よみがえりへ動く。 永遠に閉ざされた円環が開 の永遠回帰ではない、その ペンテコステへと動く。土 人生は仏教的「生老病死」

極の転換を惹き起こす動き

い陰府に架けられた橋か、 トを描いたのだ。しかしその間、その土曜日のキリス げ、口を開いて横たわる! 全身を硬直させ、上を見上 は金曜日から日曜日へ深

永劫回帰

からすでに3カ月経った。 キリストに見たのか。あれ ホルバインはこの土曜日の

(これを6月11日に書いて

葉ではないか。預言者エゼ

これは、神の問いかけの言 ごく低音で重く響くような

る神よ、あなたのみがご存

じです」。では、「主なる神」

日本は、いや、かたしたちこの「賽の河原」のような

答えるしかなかった。「主な キエルはこう答えた。そう

ることしかできなかった。

できるでしょうか」と答え

で「わたしは道である」と たわるイエス」は、福音書 す』 (同1節)。 「陰府に横

言われたお方、その「道」

いる

越えて行く橋なのだ。 キリストが「賽の河原」 死を生きている!

死」の永劫回帰、その円環 から抜け出られない。しか 仏教の人間観は「生老病

今、

日本は、

土

曜

日にいる

の口は、「渡って行け、そ ある。ホルバインの描くそ の中に動きがある。運びが

ではないか。洗礼!

を

復活」、死で終わらない、 新しい前人未踏の人生観が の円環を開いて直進、全く 死んで生きる! 打ち開かれている! その し、キリストは「生と死と

との

旧約聖書を「崩壊期の書」 僚であった左近淑教授は、 今は亡き親友、東神大同

この道この 橋 崩壊期の預言者エゼキエル だと言ったことがあった。 が 「賽の河原」、それはまさに 動 < ļ

よ、わたしはお前たちの中

とができるのか。「今は夜の は、どうしたら生き返るこ

> が担い、背負い、救い出す」 なたたちを造った。わたし がここにある。「わたしはあ

(イザヤ46・4 b)、創造

何時ですか」。「夜回りに聞

はどう答えられたか。「見

に霊を吹き込む。すると、

お前たちは生き返る」。

け!」。だれかが光を消し

来、この道この橋が、動く!

者なる神が救済者となる到



大木英夫

ではないか。

の河原」とはこのわたした

か、と。

「枯れ骨」とは、あの「賽

「お前たち」?あの谷の

た。それは誰か。「夜回り

に聞け!」。「わたしたち」

谷」(37・1~4)の光景

に神が開示した「枯れ骨の

未来へと運ぶ彼岸への橋を

返ることができるか」。今わ

る、「人の子よ、これらの わたしたちに問われてい

そこにいます」(詩篇139

ようとも、見よ、あなたが

だが、「陰府に身を横たえ

骨は生き返ることができる

たしは言う。『闇の中でも主 ・8) と詩人は言う。 「わ の子よ、これらの骨は生き

ルに対してこう問うた。「人

永遠にいましたもう神が、 はない、たしかに昔も今も ち? 他人ごと他所ごとで

来るのはこの言葉、ものす れわれ日本の伝道者の耳に

か」。この重い、重すぎる、そ

ういう問い、エゼキエルは

夜も光がわたしを照らし出 はわたしを見ておられる。

「主よ、どうしたらこのわ

したちは生き返ることが

鉄のように緊張して身を横 霊降臨日へと向こう岸へと の道が動く、そしてあの聖 転回いや転向ではないか。 は古い人から新しい人への います」、十字架から復活へ たえている土曜日のイエス 一陰府に身を横たえようと 見よ、あなたがそこに 言であった。 ういう土曜日にいるのだ。 ている。いま、日本は、 な集団となった」、これが預 らは生き返って自分の足で 向とう岸に渡る、主との「コ イノーニア!」、そのとき けよ!」と語るように開い 霊が彼らの中に入り、 彼· そ

此 岸を彼岸へと動かす 力

柱」によって新築されねば

の年の 3・10~11 の大空襲 は、「このあたり一帯は敗戦 た。その地の出身王貞治氏 間近で見物の人々で賑わっ 高いスカイ・ツリー塔完成 東京下町に建設中の世界一 この大震災の直前まで、 だ」と戒めた。 の景を呈した。 し、これまた

震災後軍国主義的に再建さ で焼野原になったところ れた日本はこうして潰滅 今そこに建つ「スカイ・ あの関東大 がたにはこの世ではなやみ の河原」から向こうへと渡 されねばならない。「あなた ならないのではないか。「賽 す「土曜日のキリスト」=

「ヨコの心柱」、この「救済

ゼイションは、ヨコの「心 ツリー」は古代の五重塔の 生史、世界史、グローバリ ることは、「ヒト」はヒュー の塔」の崩壊の絵を描いた。 を造ることではない。 法を応用した。日本にタテ 柱をもたねばならない。人 その新しい建築にヨコの心 いか。人間、世界、文明は 新しい世界への転化ではな ローバライズ、新しい人間 マナイズ、「グローブ」はグ の心柱工法で新バベルの塔 いま人間世界に起こってい 「心柱(シンバシラ)」の工 ブリューゲルは『バベル とは向こうへ行く力ではな がある、しかし、勇気を出 死もまた益」(ピリピ1・21 たしが担い、救い出す」(46 あなたたちをつくった。わ 世に勝っている」(ヨハネ しなさい。わたしはすでに 文語訳)を知った。バニヤ ことばを伝える、「わたしは ただしい死者と共に居る。 ・4)、そして使徒パウロは いか。いまわれわれはおび 《口語訳》16·33)、「勇気」 「わが生くるはキリスト、 はキリスト者の人生を かし預言者イザヤは神の

岸へと動かす力が感じられ 道に動きがある。 此岸を彼 此岸の力である」と言う。 呼ぶ。トレルチは「彼岸が Progress) いみじくも 「わたしは道である」、その 『天路歴程』(Pilgrims 「旅する者たちの前進」と ハンス・ホルバイン [1497 ~ 1543] アウクスブルク生まれ。ドイツ・ルネサ ノス最後期の代表的画家で、ヨーロッパ ンス最後期の代表的画家で、 絵画史上最高の肖像画家の一人と言わ れる。トマス・モアやヘンリー8世の肖像 画がある。他の代表作に『聖母子と市長 マイヤーの家族』『死の舞踏』

絵は、バーゼル市美術館所蔵、ドス トエフスキーにも深い感銘を与えた。

の啓示があるのではない の成就あらんことを。 きな集団となった」。 か。「霊が彼らの中に入り、 イエスには「ヨコの心柱」 で立った。彼らは非常に大 彼らは生き返って自分の足 面に横たわるあの土曜日の わくはわが教団にこの預言 人生史、世界史の深く内

ている。だから教会は教会 にならねばならない。ねが 世界は教会になりたがっ

(聖学院大学大学院長)

グローバリゼイション!

受允者(左3人)、受按者(右3人)を紹介する岩﨑議長

た。しかし、今年は、「常

の決定を覆すことはできな 議したが、常任常置委員会

> 承し、履行することを約束 入れ、教区三役はこれを了 とはできないこと」を申し

政輝(丹波新生) 大山修司 (膳所)、 江金田)、大澤宣 (紫野) 信(八日市)、横田明典(近 山田真理 (上鳥羽)、川上

竹ヶ原

羽・東北・関東の3教区である。地 東日本大地震の被災教区は

総会開会前に教区三役と協

記者は京都教会に赴き、

いとの主張をあらためて聞

者は議場には入らず、取材

これらの経過を経て、記

川上穣(錦林)、押本年眞

「信徒」奥野カネコ(膳所)、

を断念した。以下、選挙結

田)、原田潔(大津東)、谷

いては公式に受け入れてき 間も、教団新報の取材につ る京都教区であるが、その

任常置委員会での決定に基

る。ついては、報告記事を

まえて、これ以上の交渉は き、教区の状況その他を踏

ついて総会取材を拒否す

い」旨の申し入れが、京都

し、教団新報編集委員会の

【議長】 井上勇一

三役選挙結果

木)、志賀勉(紫野)

教区ができる支援をそれぞれ明確にし

、教団として取り組むべき支援・

が教団を通して共に密接に連絡を取り

その地域への救援について熱心に話し 染という三重の被害を受けた諸教会と 震・津波・原発事故からくる放射能汚

ある。

被災3教区と支援する教区

区定期総会は、5月3日、

た。2004年以来、教団

4日京都教会で開催され

ことはできないとの結論に 他とは違う取り扱いにする 討したが、京都教区だけを た。編集委員会で対応を検

に従い、退席したことを、

議場に報告し、議事録にと

【教職】望月修治(同志社)、

が、常任常置委員会の決定 が派遣され、議場まできた

【副議長】入治彦(京都)、

(書記) 韓守信 (長岡京)

常置委員選挙結果

新報取材も拒否

京都

いたり、記者を派遣すると

どめること、ならびに教区

による報告記事を載せるこ

問安使受入拒否を続けてい

ととした。

京都教区第5回(合同後

2011 年度

て、「戒規問題は終結した 更に、総幹事報告に関連

神奈川

京都

総幹事

関心

の多くは「教師免職」問題 び報告での質疑に、大半の に向かい、この関連議案及 法定議案を除けば

問状を送った教区教師委員 委ねられており、開示しな 料の開示をしないのか、質 美教団書記は、「資料の開示 会にも何の回答もない」と 望は伝える」と答えた。 い方針を回答している。要 は教団教師委員会の判断に **疑問が述べられた。 雲然俊** 教団問安使の挨拶を受け 何故本人に対しても資 置委員会推薦で正議員か」 かな教規違反だ。長く伝道 前があったことから、激し と反対意見が述べられ、こ 委員候補に北村慈郎氏の名 要望も述べられた。 れていただきたい」と強い いのに、何故、違反者が常 していても准議員の人が多 い議論が起とった。「あきら

て事件の終結。新報の記事 は、「終結とは仮処分申し立 記事で誤報だ」との主張に ある。本人への取材もない は担当者と確認する」と応 教団新報にも同様の記事が かのような表現が見られ、

京都、今期も問安使受入

日、清水ヶ丘教会を会場に、

神奈川教区

第126回総 会は、6月25

名の出席で開催された。

ば、キリスト教教育主事に 道に力を入れるのであれ 関する文章を議長挨拶にい 問安使挨拶では他に、「伝 「各種委員選任の件」で、 たことから、教師は職が解 象だった。要は、教会史的 問題、更に免職に伴う年金 氏の代務先教会での身分の に教会論的に法的に常識的

教師なら教規違反でも、信 でもなれる。免職になった が「各委員は信徒でも教師 受洗者陪餐を禁止する条項 り上げずに門前払いにし 回を求める件」では、「第37 分への抗議ならびに処分撤 はない」「教師委員会が戒規 総会で教区提案の議案を取 「北村慈郎教師の免職処

削除など、争点が拡がった かれたら信徒なのか、北村 徒としてならよい」と答え が、議論はかみ合わない印

申立をしたこと自体が第36 いのかという対立だった。 一続にする動議とが出され、

な事柄なのか、そうではな 確ではないであって、何も の①で、〈「聖餐」のあり方 定めていないとまでは言え 何も定めていない〉と断定 について「教憲・教規」は 共に記された[問題の所在] 案に賛成の立場からも「明 れ、結果的には、①を削除 していることから、この議 その中で、[提案理由]と

わず混迷を深めた。 こでも、 議論は全くかみ合 賛成の論拠が上げられ、こ られた。この一々に反対と にそむく」などが、処分撤 教団総会の第4号議案決議 回を求める理由として上げ

決された。 動議は197中賛成76で否 ないが』の文言取り消し 結果「『~不当とまでは言わ どうかで議論があったが として、従来どおりお諮り 摘が動議として成立するか い。今後改革を求める前提 して採決したい」と述べた。

神奈川

処

に超え可決された。 その他では、「議長は、

教区全てが終了した。いま、今年度

4月28日の四国を皮切りに始まった

言うと思うが、通過儀礼に 当とまでは言えないが』と 准允・按手執行の採決の前

受けないわけにはいかな 岩﨑議長は「教師検定問題 どうか」との指摘があり、 なっているので、やめたら いないが、現実には試験を はいまだ完全に解決されて く』なって前進するよう今後に めて、石橋秀雄教団総会議長が 部が再選され、継続していく教区も含 交替し、執行部が新しくされた。執行 くつかを記してみようと思う。 の各教区総会をふりかえって課題のい 教区総会は6月25日の神奈川を最後に

まず、いくつかの教区で総会議長が

教勢減退傾向について

の原点に立ち帰り礼拝を充実 葉にはあなたがたの徳をたて 来見られることで、教団全体と 者数が各教区とも漸減してお 共に、み国をつがせる力があ 妙案はない。 わたしたちが信仰 かねばならない。端的に言って 甜っていくほかはない。 『み言 させ、キリストの福音を力強く して真剣に打開策を考えてい ・聖別されたすべての人々と 信徒数、礼拝出席者数、受洗 にある。 このことはここ数年 (使徒行伝20章32節·口語 それに伴って献金額も低下 教会の財政力が弱体化の傾

救援をめぐって東日本大地震被災教会 総会を振り

れぞれの教区の宣教活動に

団が先づあって信仰告白、教憲教規に 基づいて教 特徴が見られるのは事実であ て教団ができたのではない。教 会形成がなされていくので う恐れがある。

では最も多くの時間を費やし

各教区総会で法定議案以外

ければなら を、わたしたちは正しく認識していな に17教区が置かれているということ 宣教活動 を有効にすすめていくため ないのである。 (教団総幹事 内藤留幸)

のが各教区総会での共通した結論だっ て、強力にすすめるべきであるという

で長期にわたって救援活動をすべきで 会の再建を目指して』としたこの方向 主題を『地域の人々の救いに仕える教

教団救援対策本部が基本方針の中で

建議・請願の取り扱い について

認ボタンはない。後ろにせ

かされる気がして、次をタ

チ。券が出た。確認とは

さいという音声案内に、目 当ての品にタッチ。確認下

ン→醤油、目 ら入りラーメ 注文。粉類か でラーメンを SA、券売機 ▼高速道路の

を凝らして探す。しかし確

関の処置に対して希望を訴える するものであり、請願も教務機 務や行為について建設的提言を い教師や信徒が教団や教区の教 るように、本来建議は議員でな それなのに議員である者が建 である。 規施行細則第4条の2にあ

粉類のカウンターに出す

目視確認らしい。▼券を、

と、「未だ出来ていません」。

「えっ」と戸惑う。券を購

を教区総会議長が受理し、更に するべきなのである。今後はこ 正規の手続きを経て議案を提出 議案として取上げられるのは明 議や請願の提案者になり、それ の過ちを改めねばならない。 に教規違反である。議員は

現在調理中の番号。色が変

「えっ」、良く見ると番号は

わって、「〇〇の番号の方

が掲示される。粉類の窓口

『未だ出来ていません」。

いた。薬局のように、番号

人した段階で注文は済んで

教団と教区との関係

区が先にあってそれが集っ 教区連合体のようになって えるが、一つ間違えると教 ての豊かさを示していると それは教団がキリスト教会

お詫び・訂正

松田章義(鳥取)、太田直 梁)にお詫びして訂正いた 常置委員選挙結果、【信徒】 東中国教区総会報告記事、 宏(岡山)、土井しのぶ(高 教団新報4726号2面、

英会話を勉強しなくては! 日本を脱出するしかない! なんて耐えられない。もう、 が増えているそうだ。日本 内公用語を英語とする会社 合理的だとしても、老人に 合理的なのかも知れない、 は、窓口までどうぞ」。▼ は生きにくい社会だ。▼社 の札投入口に、硬貨を一列 **慣れれば。次に利用する時** 人が日本語で生活出来ない なければ。 ▼電車の券売機 に並べている老人を見た。 にはシステムが変わってい

月開催予定の協議会

会は、4月11日 (月) に教

いうことであった。

次に日本側の受け入れ態

ことが現実的ではないかと

された。

本の三国間協議会実行委員

団会議室で開催された。

を受けて、今年の協議会自

冒頭から、東日本大震災

体が開催可能かどうかが話

へのフィールドトリップが た。協議会ではアジア学院 勢についても話し合われ

興を考えると、教議会自体

議会開催を断念することと 行委員会は、今年7月の協

した。そして震災からの復

を、2年先を目処に延期す

計画されていた。しかし、

合われた。

開催断念

第9回三国間協議会実行委員会

された。スイス、韓国両国

からは、教団はこの未曾有

報告された。

反応が、担当幹事から報告

は多大な被害を受け、非常 震災の影響で、アジア学院

論に達した。

ることが妥当であるとの結

に厳しい状況であることが

まず参加予定各国からの

今年 7

能漏れに対する憂慮がある

当幹事の働きを担うことに

本大震災の救援対策本部担

なり、差し迫った7月の協

わせて決定された。 委員会にゆだねることも合 扱いについては、世界宣教 て一度解散し、今後の取り

ては、加藤誠幹事が、東日

また実務的なことについ

は、この9回目の会をもっ

して組織された実行委員会

なお、今年の開催を目指

左から、野田、李、加藤(幹事)、田中(委員長)の各委員

最後に、震災における台

関西学院高等部

波新生辞(主)竹ヶ原政輝

ことも表明されており、今

いた。しかし同時に、福島 欲しいとの励ましをいただ の災害への対応に集中して

海 諸教会から祈りと献金の申 第1回国際関係委員会

し出

中村清、渡辺多恵子の組織 教団会議室にて開催され 記·網中彰子、大津健一、 係委員会は5月19日 (木)、 第3総会期第1回国際関 委員長・中道基夫、書

MS(南西ドイツ宣教会)

のドリス・グロス幹事がE があること、ミッション21 があった。海外諸教会から 多くの祈りと献金の申し出 大震災被災教会の近況報告 冒頭、事務局より東日本 ため事務局を訪問したこと

等が報告された。 協議事項として前回議事

定を確認、参照しつつ、選する件を扱った。奨学金規力奨学金・奨学生選考に関 した後、エキュメニカル協 録と前年度会計報告を承認 の内2名を選んだ。 考に入った。基金は徐々に 類を検討し、5名の応募者 減少していく可能性がある ことを踏まえていくことと した。時間をかけ丁寧に書

2011年4月25日

日本基督教団臨時常議員会 で決定された募金目標額を 月18日(月)に開催された EMSボランティアプロ 災救援対策について、4 報告事項として東日本大

グラム青年派遣について、

教

才

新

報

左から、中道(委員長)、網中、渡辺、中村、大津 の各委員

> の委託を受けて状況把握の 現在派遣中の中川志桜里氏 情報を分かち合った。 EMSの機構変更について (新松戸幸谷教会)を覚え、

予定の議事を終え、教団 名。渡航自粛勧告の国もあ ザが下りず参加出来なかっ り、参加予定であったがビ

で必ず復活する』と言った

(網中彰子報)

催され、全体の参加者は12 彰牧師(アガペシップ教会) の旅に参加した杉森耀子氏 10年10月13日~24日に開 を招き報告を伺った。「20 で公募したEMS中東巡礼 (小田原十字町教会)、倉形 さを感じつつも、エルサレ の高さ等、中東和平の厳し た。ベツレヘムの周囲の壁 人々と話し合いの時を持っ レスチナ教会、ユダヤ教の た方もいた。 ヨルダンより入国し、パ

ム教会指導者が『クリスチ りも祈り、神御自身が働い のが印象的だった。対話よ の報告を受け意見交換をし ことの大切さを感じた」と て下さることを信じて待つ 被災地、中東、いずこに

ャンは、キリスト復活の地 りを合わせて閉会した。 も主の平和があるように祈

湾基督長老教会、いち早く来訪、 第 1 回台湾協約委員 祈り と献 金 会

立)より、3年まで牧会し、

弓町本郷

早稲田

道所開設、77年2種教会設

和泉多摩川教会を16年(伝

年日本聖書神学校を卒業、

東京都に生まれる。

た。委員長の田中文宏(真 台湾教会)である。 駒内教会)、野田沢 (学生 において第3総会期第1回 委員は李孟哲宣教師 キリスト教友愛会)に加え、 台湾協約委員会が開催され (月)、日本基督教団会議室 本委員会は、 1963年 北海教区にはスクルマン宣 委員会が担当)が生まれ、

年の協議会開催は延期する る可能性があることが報告 台湾基督長老教会との宣教 締結、1985年改訂の、

以上の状況を踏まえ、実 湾基督長老教会の対応につ 教師が派遣された。 の度の東日本大震災での台

交わりを深めて来た。教会 ミッション(教団では教育 協議会の結果として、相互 隔年で教会協議会を開催し る。実際、1984年以降 係を深める役割を担ってい 協約に基づき、両教会の関 に青年を派遣し合うユース れて来た。 手渡した。4月下旬には3, の献金を内藤留幸総幹事に 訪問、祈りと共に1万ドル 黄哲彦幹事が教団事務局を 月16日、教会・社会担当の 417万円もの献金が送ら これは震災救援募金の中 震災から僅か5日後の3

台湾基督長老教会との密接 感謝の気持ちに溢れつつ、 犠牲の愛に勇気づけられ、 教会の大いなる祈りと自己 なパートナーシップを再度

でも最高額。台湾基督長老

藤幹事が招かれている。 また6月28日から約3週

加が困難ではある為だが、 影響や日程的に大学生の参 とができなかった。震災の 広報の課題も含め、反省で 日本から参加者を立てるこ 間の日程で開催予定の「I Love Taiwan」〈ぜ

いと思う。 湾基督長老教会の祈りと素 表すとともに、 早い対応に最大限の謝意を **旦の繋がりを心から喜びた** 主にある相 岡山 洛南 //

野田沢報

(担)柳原鐵太郎

長崎学院

辞(教)大野恵正

辞(主)吉新治夫 就(主)福田英樹 確認するものとなった。

教団議長・田中委員長・加 12年1月下旬または2月 この総会には、石橋秀雄

さん(在外教師)。 した。遺族は息・久山康彦

西宮一麦 富士見町辞(担)橋本いずみ 教師異動 就(主)橋本いずみ 辞(主)大石健

金沢八景 辞(担)川合 就(主)井上喜雄 就(主)川合 辞(教)澄田 辞(主)井上喜雄 望 望 就(担)竹ヶ原政輝 就(主)足立麻子 就(主)内田 辞(主)内田 汎 辞(代)吉岡光人

辞(代)星野江里香

就(主)中山契生辞(主)福田英樹

就(主)高塚和彦辞(主)町頭良行

台湾協約委員会が参加す 会を台湾で開く年となって 督長老教会の総会で確認す る。協議会の日程は、4月 幹事・各教区からの代表者・ いる。教団からは三役・総 26日から開催される台湾基 さて今年度は、教会協議 隠退した。遺族は息・山室 真平さん(和泉多摩川教会

る予定だ。(後日追記:20 年日本基督教神学専門学校 歳。岡山県に生まれる。 任、54年より99年まで江戸 を卒業、55年洗足教会に赴 11年3月19日、逝去。 松江教会を牧会し、隠退

久山隼兒氏(隠退教師)

勝 岩 佐 焼 袋 〃沼 〃 村 久 〃 津 〃 井 量士見高原辞(主)白砂誠一 辞(主)坂元 高 辞(主)宇田 就(代)船戸良隆 辞(主)濱田政秀 就(主)高橋英美 寛 真 修 山梨八代 箕面東 長居 " 就(主)丸尾雅俊辞(代)黒米理恵 辞(主)大矢真理 辞(主)丸尾雅俊 就(主)片平貴宣 辞(担)片平貴宣 就(主)倉橋克人

辞(代)比嘉盛二郎 辞(主)山田 裕 就(主)谷本公義 辞(担)谷本公義 辞(主)生野隆彦 就(主)荒又敏徳 辞(担)荒又敏徳 江差 島之内 大阪住吉 河内長野みぎわ " 辞(主)高塚和彦 就(担)中尾 勉就(主)福島義也 就(代)市川和恵辞(主)福島義也 就(主)藤崎裕之 辞(主)五島



辞(代)辻中

//

辞(担)平本善

辞(神)君島洋三郎

辞(教)渡辺兵衛

山室 光氏

08年2月26日、逝去。

(隠退教師

就(主)平沢 就(代)小森裕之 辞(主)高﨑芳輝 就(担)佐藤智子 辞(担)佐藤智子 辞(代)平沢 辞(主)細川 就(主)井上孝仁 農村伝道神学校

天満 大 宇津 治 池袋西 坂出大浜辞(主)上野清次郎 愛知病院 辞 就(主)君島洋三郎 辞(担)石川はるみ 就(主)君島洋三 辞(担)南 豊 辞(教)今城慰作 辞(担)安森智司 辞(担)高田 辞(担)朴 貞蓮 辞(担)筒井省行 辞(担)小西 淳

南板橋 辞(主)明星 晃千葉本町辞(担)矢澤新一郎 就(主)山口和憲 辞(代)野村 稔就(主)安田俊朗 辞(担)山口和憲 就(主)飯島隆輔 辞(主)高橋英美 辞(主)安田俊朗 辞(担)飯島隆輔 就(主)洪 德憙 辞(担)洪 德憙 辞(主)橋爪忠夫 高崎南 松井田 東京聖書学校吉川 辞(主)上林順一 就(主)南 就(主)望月達朗 辞(代)藤 秀彦 辞(主)倉橋克人 郎 豊

教

手間や労苦を生んだという。

三宅島伝道1 周

記念礼拝と伝道リサイタル

追を兼ねた、

森祐理リサイタル を二本の柱として行われた。 こを記念する集会が行われた。 られてから100年経ったと 一宅島にプロテスタントのキリ ト教が伝えられ、伝道所が立 会は記念礼拝と島の人への伝 この会は三宅島伝道が100 6月13日 (月) ~ 14日 (火) 交わりの賜物だとも言える。 わった本州の牧師と島の信徒の ていないことが確認された。 み、三宅島伝道の希望が失われ わった方もともに主の食卓を囲 を語った。4月から島の施設に の集会は、そのようにして関

2月には東支区書記(当時)で 教区東支区の中で実行委員が立 **戸年を迎えることを覚え、東京** こられ、その後月1回の礼拝の にめに本州から牧師が訪れた時 !実務が行われるという形で準 間に海を挟む形での準備の時 陸続きの中では考えられな **建築許可が下りるのを待ってい** ていない。現在は更地の状態で が確認されず、居住許可が下り 矢、2000年以後、まだ安全 では会堂が溶岩の熱によって焼 なったり、中断されたりする中 火により、何度も伝道が困難に 続けてきた。1983年の噴火 00年間伝道の火がともされ

籍こそ移していないが礼拝に出 点し続けている二人の姉妹と、 そのような中でも信仰の火を 徒たちを中心 席している信

事を通して力強く慰めと励まし

が島を訪れ、ノアの方舟の出来

けられた。 100周年 若い母親のための会なども開か 保坂松太郎牧師が定住してから の役割を担ってきたこと、特に

時は多くの人が教会に集

上から、

阿古の会堂跡地で。

神様の愛を熱唱する森祐理姉 二宅島伝道所の「双葉」2人の姉妹。

三宅島は、度重なる雄山の噴 られ、その意志がマケドニア会 状況でなんとか日本人にキリス 千葉における伝道を担うことに 区議長(西千葉教会)が、スカ 記念の礼拝では、自身もマケビ トを伝えたいという熱意が伝え アンスの宣教師の思い、都市部 なったスカンジナビア・アライ 本における伝道の創生期の活動 ンジナビア・アライアンスの日 一ア会に属する木下宣世東京教 には他教団がすでに入っている ついて語った。伊豆、伊東、

諸島に対する伝道の拠点として に次いで教会が建てられ、伊豆 渡

14日は晴天に恵まれ、午前10

より伝道が開始され、伊豆大島 浮教会)によって、三宅島にス カンジナビア・アライアンスに る伊豆大島の竹井真人牧師 ていることが語られた。 に受け継がれ、今も活動が続い その後、同じ伊豆諸島に属す

手を取り合って祈った。 時より阿古の会堂跡地で祈祷会 と三宅島の信徒が一つにされ、 が持たれた。本州からの参加者

つようになったことなどが紹介

幼い頃、教会学校の生徒であっ の教会の働きの思い出を語 たと挨拶の中で語り、三宅島で 来賓の三宅村村長も、

教会) は、 務めた、河合裕志牧師(新横浜 のようだと語り、この時を迎え 双葉の写真を指して、現在三宅 **邑伝道所に在籍する2名の姉妹** に感激を語った。 東支区長として長く代務者を プログラムの表紙の

思っていた。願いが聞かれてと うようになったことを証した。 う確信を与えられ、被災地で歌 を紹介し、阪神大震災で弟を立 伝道所の姉妹との出会いを語り 別の場所で生かされているとい 讃美歌やゴスペル以外にもキリ の歌と語りに耳を傾けた。姉は ても嬉しい」と語った。 特に本州に避難していた三宅島 くした経験、神様にあって弟が スト者の作詞や作曲による童謡 会外の島民が20名以上訪れ、姉 いつか、三宅島で歌いたいと 森祐理姉のリサイタルには教

団として緊急にこれを支援 紀幹事は、その調査の帰路、 員、藤掛順一委員と藤盛勇 5月31日であった。 状況を ら調査員が派遣されたのが は、原発3㎞ 圏内という状 この教会と保育園の働き 詳しく知った岡本知之委 会と隣接の原町聖愛保育園 土避難区域)にある原町教 島第一原発の3㎞圏内 (自 **面で報告されたように、福** に、教団の救援対策本部か すでに第4725号の紙

原町教会、原町聖愛保育園への

子どもたちを守る 原発 30km 圏内で、 礼拝を守り、

し働きを知ってもらうため

事が同行してこの緊急支援

金(目録)を手渡すと共に、

である。 原町教会と協力して地域の 者たちに、遊び場・交わり 円をお献げするというもの 支援金として1、000万 方たちの働きのための緊急 愛保育園の保育士・職員の ために奉仕している原町聖 の場・相談の場を提供して 活動の支援へ200万円 教会の朴貞蓮牧師の生活と 道・牧会に励んでいる原町 域の子どもたちとその保護 を、また、同じ状況下で地 域の人々の救いのために伝

石橋議長、朴牧師と原町教会役員の皆さん

する現状そのものが訴える 会役員、保育園職員の方々 の不安が、また別の新たな の影響は、目に見えない故 像力が求められる。放射能 には、ある程度の知識や想 ものがあるだろう。しかし、 互いに励まし合った。 と懇談し、情報を交換して、 原町教会の朴貞蓮牧師、 原発事故による被害を知る も少なくない。あるいは津 波の被害は、目の当たりに 地震の被害は経験した者 現実として毎日見せられ 想像もせず思いもしないは とになったが、そのバスは を及ぼしているという。 た。これが子どもたちの心 ずの光景を、子どもたちは 圏外の学校にバスで通うと 住む子どもたちは震災後、 道路を塞ぐ大小の船を回避 に深く食い込んで、その体

和人東北教区議長に連絡の

、直ちに緊急支援が行わ

委員の了承が得られ、高橋 たところ、救援対策本部各 原町教会の調査報告と共に

一体的な支援の提案を行っ

界本部の各委員に対して、

早速、調査員は、救援対

を強く感じさせられた。 にも、情報を発信する必要

れることとなった。

同じように、沿岸部は「壊 とんど放射能の被害と思わ 島県の浜通りと言えば、ほ か現実が伝わりにくい。福 んど入らないため、なかな の状況は、マスコミがほと とを避けているため、電話 マスコミのみならずあらゆ 放射能の影響を危惧して、 れがちだが、岩手や宮城と 福島県の浜通り(沿岸地方) 滅状態」なのだ。しかも、 原町教会が置かれている 原町教会の役員の一人が、 る地方独特のものがある。 いる」、とも。 す」と言う。あるいは、「何 十年後の研究のためのサン この放射能の影響が言われ ん、保護者たちの不安も、 **炡や拒食症、不眠といった** 以前の幼児たちを円形脱毛 子どもたちも同様だ。就学 って保育園に集まってくる ノルにされていると感じて **延状が襲っている。 もちろ** 「私たちはモルモットで

原発から20㎞~30㎞

(藤盛勇紀報)

さらに内外にこの状況

石橋秀雄教団議長に藤盛幹

やテレビを新たに設置する

調査の翌週の6月10日、

ジ受信機能)が唯一の情報 着任した朴牧師も、携帯電 手段だという。 話とワンセグ(携帯の地デ ことさえできない。4月に 岩手や宮城では、津波の

然で危険な状態で立ったま 壊すことさえできず、不自波で損壊した建物も、取り 沿いに残されたままだ。津 された多くの漁船が、道路 ころが浜通りでは、手つか り片付けられつつある。と 被害を受けた沿岸部もこの ずの所が目立ち、陸上に流 3ヶ月の間に、 瓦礫もかな 間の「境界の地」に住む人々 二つの保育園と協力して、 りの場、心の拠り所である。 その家庭の大人たちの交わ たちも避難先から帰ってく 家庭にあって、幼い子ども できない事情がそれぞれの ない事情、避難したくても が強く求められる」。しか 病人は「立ち入らないこと の思いは複雑だ。子どもや 30 は、こうした子どもたちや る。原町教会と聖愛保育園 の地域に戻ってこざるを得 し、それにもかかわらずこ 原町聖愛保育園は、他の km 圏外で共同保育を試

てこざるを得ない事情があ にも予想もしなかった影響 それは、この地域に戻っ ながら進む。ふつうでは 南相馬市の30 km 圏内に も広く、一方は住宅地、他使われていた建物と土地 のうちに希望を語りあっ 議長のだじゃれで一同笑い たり!」と、いつもの石橋 垂(えたり)」。早速、「得 況の中、迷ったが、今回、 た。職員の給与も出ない状 想に近い環境が提示され る場所を求めたところ、理 祈った」。独自に保育ができ た後に、「子どもたちと端っ みたが、保育方針が全く違 れる。その地区の名は「江 方は広い畑に囲まれ、安心 役員に連れられて、新しい 石橋議長と幹事は朴牧師と 始める決意が与えられた。 けて、そこで新たな活動を こに集まって、こっそりと えままならない現実に直面 して子どもたちを遊ばせら 土地を見た。研修所として 教団からの支援の申出を受 わり、帰りの挨拶を済ませ い、礼拝はもちろん祈りさ した。全体の保育時間が終

あって礼拝の群を守り、

地

影響を人の心身に及ぼす。

原発事故の深刻な影響下に

この緊急支援の内容は、